

くすりのしおり

内服剤

2021年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：バラシクロビル錠 500mg 「SPKK」

主成分：バラシクロビル塩酸塩 (Valaciclovir hydrochloride)

剤形：白色～微黄白色の錠剤、長径 18.5mm、短径 7.3mm、厚さ 6.1mm

シート記載：(表) バラシクロビル錠 500mg 「SPKK」、JACF1 (裏) VALACICLOVIR500mg
バラシクロビル錠 500mg 「SPKK」



この薬の作用と効果について

ウイルス DNA の複製を阻害することによりウイルスの増殖を抑えます。

通常、単純疱疹、帯状疱疹、水痘の治療や、造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症、性器ヘルペスの再発を抑えるために用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。腎臓が悪い、あるいは透析を受けている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）

・[成人]

単純疱疹：通常、成人は1回1錠（バラシクロビルとして500mg）を1日2回服用します。

造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制：通常、成人は1回1錠（500mg）を1日2回造血幹細胞移植施行7日前より施行後35日まで服用します。

帯状疱疹：通常、成人は1回2錠（1,000mg）を1日3回服用します。

水痘：通常、成人は1回2錠（1,000mg）を1日3回服用します。

性器ヘルペスの再発抑制：通常、成人は1回1錠（500mg）を1日1回服用します。なお、HIV感染症の患者さん（CD4リンパ球数100/mm³以上）は1回1錠（500mg）を1日2回服用します。

[小児]

単純疱疹：通常、体重40kg以上の小児は1回1錠（バラシクロビルとして500mg）を1日2回服用します。

造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制：通常、体重40kg以上の小児は1回1錠（500mg）を1日2回造血幹細胞移植施行7日前より施行後35日まで服用します。

帯状疱疹：通常、体重40kg以上の小児は1回2錠（1,000mg）を1日3回服用します。

水痘：通常、体重40kg以上の小児は1回2錠（1,000mg）を1日3回服用します。

性器ヘルペスの再発抑制：通常、体重40kg以上の小児は1回1錠（500mg）を1日1回服用します。なお、HIV感染症の患者さん（CD4リンパ球数100/mm³以上）は1回1錠（500mg）を1日2回服用します。

いずれの場合も、基礎疾患により服用量や服用回数が異なる場合があります。必ず指示された服用方法に従ってください。

- ・飲み忘れた場合は、気がついた時点ですぐに1回分を服用してください。ただし、次に服用する時間が近い場合は服用しないで、その後は指示された時間から服用してください。2回分を一度に飲んではいけません。

- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。

- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・服薬中は普段より多めに水分をとってください。ただし、水分制限を指導されている方は医師または薬剤師に相談してください。
- ・自動車の運転や、危険を伴う機械の操作に従事する方は、眠気などの意識低下が起こることがあるので、十分注意してください。なお、腎機能障害のある方は、特に意識障害などがあらわれやすいので、医師から控えるように指示されている場合には危険を伴う機械の操作を避けてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、蕁麻疹、かゆみ、光線過敏症などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、血管浮腫、動悸 [アナフィラキシーショック、アナフィラキシー]
- ・発熱、出血しやすい、全身けん怠感 [汎血球減少、無顆粒球症などの血液障害]
- ・尿量減少、むくみ、全身けん怠感 [急性腎不全]
- ・意識障害 (昏睡)、幻覚、痙攣 [精神神経症状]
- ・結膜充血、中央に浮腫を伴った紅斑、口腔や陰部粘膜などのただれ [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。